

センターコンソールやインダッシュに取り付ける場合

トヨタ車、日産車、三菱車のほとんどは純正カーオーディオをはずして、そのあとに本機を取り付けられます。取り付け可能車はお買い上げ店にお問い合わせください。
(お車が上記以外のときは、別売りの取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。)

取り付け時にフロントパネルの表示窓を押したり、ボタンに強い力を加えたりしないでください。また、本機の上面に物などをはさみ込まないでください。故障の原因となります。

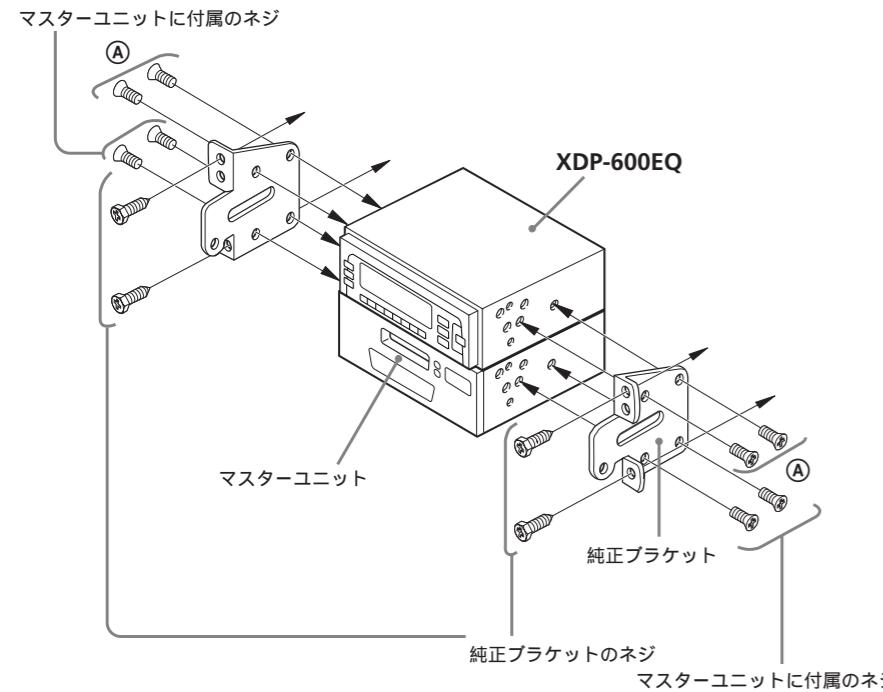
1 純正カーオーディオを取りはずします。

センターコンソールやインダッシュから純正カーオーディオを取りはずし、カーオーディオを取り付けていた純正ブラケットを利用して、本機を取り付けます。

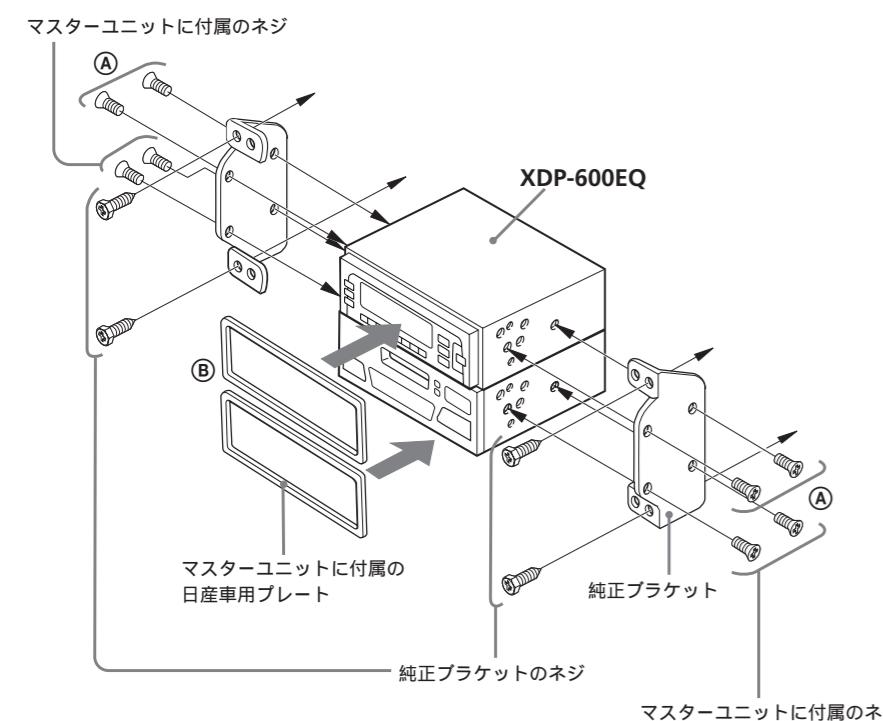
2 本機を取り付けます。

(接続例を参照して、センターコンソールやインダッシュに取り付けてください。)

トヨタ車/三菱車の場合
(イラストはトヨタ車の場合)



日産車の場合



ご注意

純正ブラケットを本機に取り付けるとき、本機側面に刻印されているT(トヨタ車/三菱車用)N(日産車用)マークにブラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属の皿ネジⒶで取り付けてください。他のネジを使用すると故障の原因となります。

!警告 安全のために

警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

!警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

!注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたことがあります。



!警告



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

本機はDC 12Vマイナスアース車専用です
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける

動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。



運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

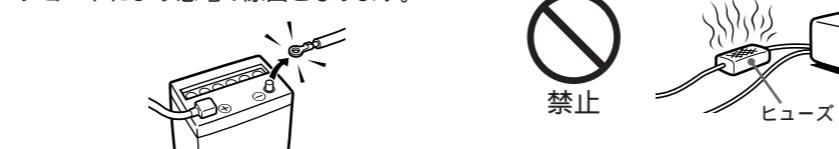
運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をすると、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



配線作業中は、バッテリーのマイナス端子をはずす

マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。



!注意 下記の注意を守らないとけがをしたり自動車に損害を与えたことがあります。

付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。



雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。
電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超てしまします。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



SONY®

デジタルシグナル プロセッサー

取り付けと接続

お買上げいただきありがとうございます。

!警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この「取り付けと接続」および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

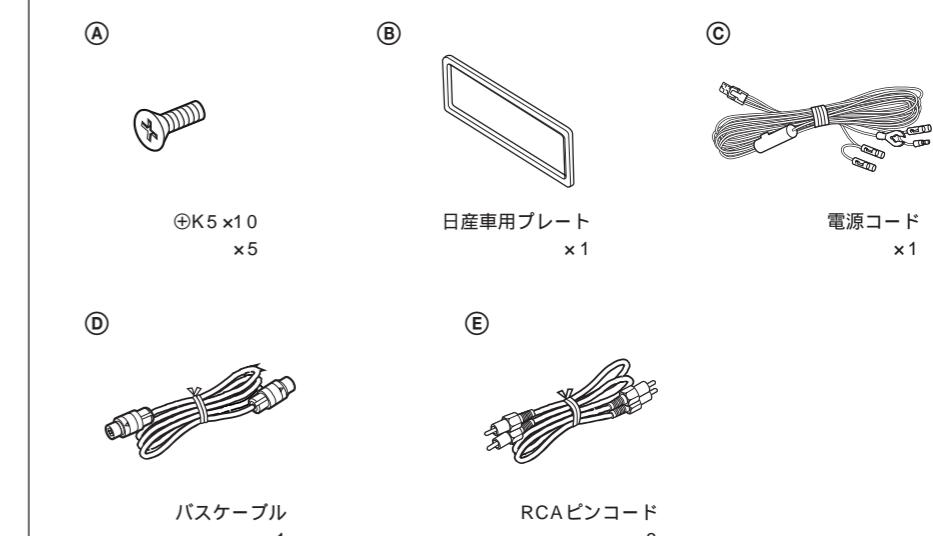
取り付けはお買上げ店に依頼する

本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

XDP-600EQ

Sony Corporation © 1996 Printed in Japan

取り付け/接続部品

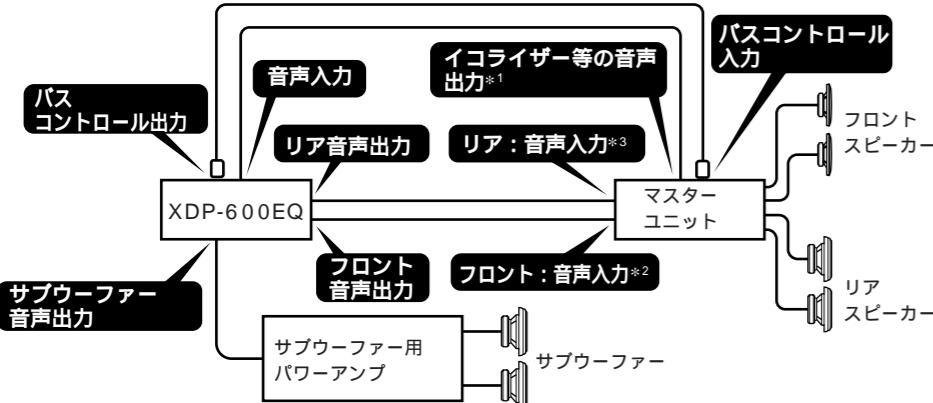


接続 必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

システム接続例

接続例1(マスターユニットとサブウーファーを接続する場合)

マスターユニットに音声出力/入力切り換えスイッチがある機種は、必ずスイッチを②側にしてください。
また、LINE OUT/EQ IN切り換えスイッチがある機種は、必ずスイッチをEQ IN側にしてください。



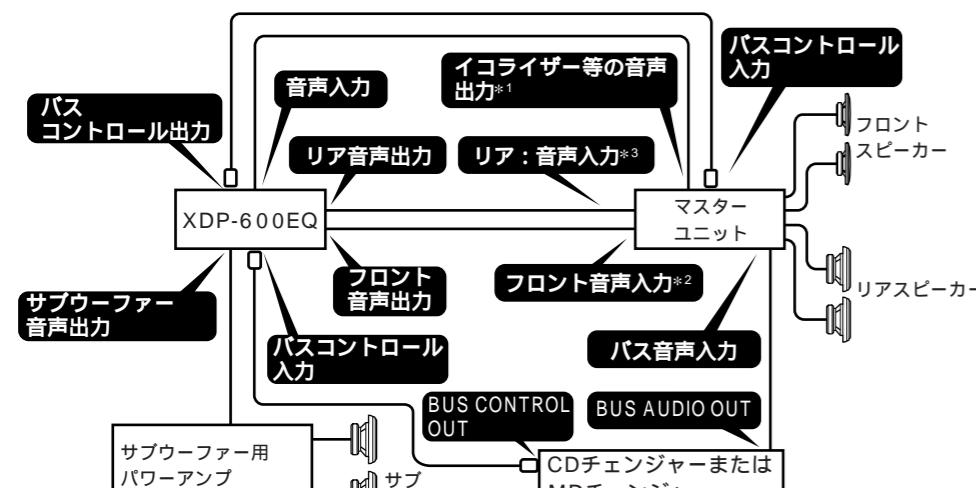
*1 機種によっては「LINE OUT」あるいは「EQ OUT」表示の場合があります。

*2 機種によっては「LINE IN FRONT」あるいは「EQ IN FRONT」表示の場合があります。

*3 機種によっては「LINE IN REAR」あるいは「EQ IN REAR」表示の場合があります。

接続例2(マスターユニットとサブウーファー、CDチェンジャーまたはMDチェンジャー1台を接続する場合)

マスターユニットに音声出力/入力切り換えスイッチがある機種は、必ずスイッチを②側にしてください。
また、LINE OUT/EQ IN切り換えスイッチがある機種は、必ずスイッチをEQ IN側にしてください。



*1 機種によっては「LINE OUT」あるいは「EQ OUT」表示の場合があります。

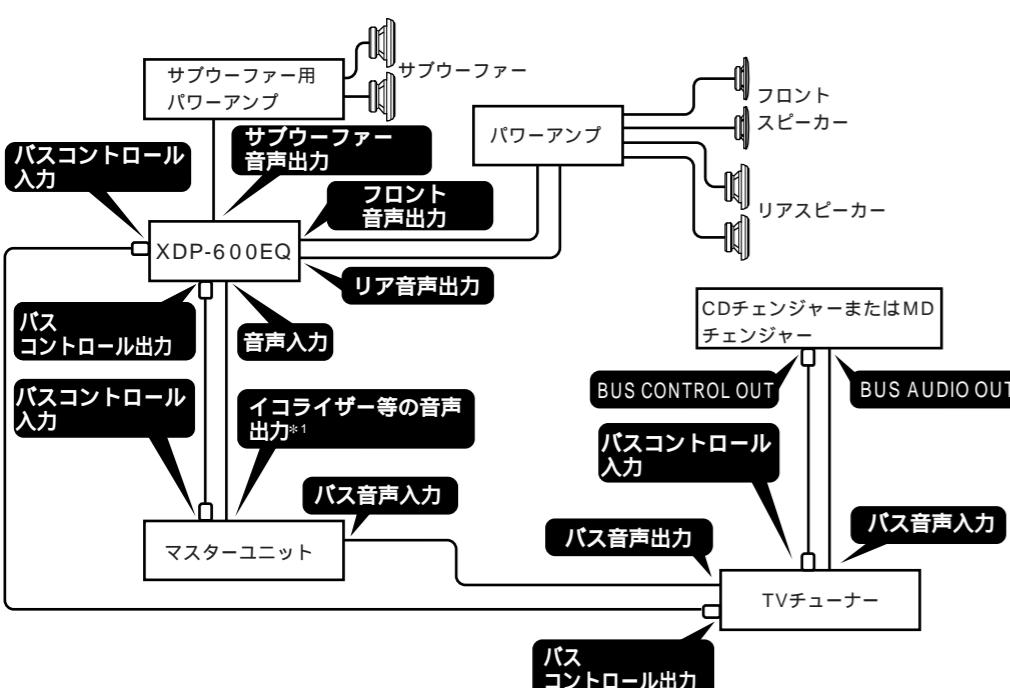
*2 機種によっては「LINE IN FRONT」あるいは「EQ IN FRONT」表示の場合があります。

*3 機種によっては「LINE IN REAR」あるいは「EQ IN REAR」表示の場合があります。

MDチェンジャーの接続については、くわしくはMDチェンジャーに付属している接続図を参照してください。

接続例3(マスターユニットとTVチューナー、CDチェンジャーまたはMDチェンジャー、パワーアンプ、サブウーファーを接続する場合)

マスターユニットに音声出力/入力切り換えスイッチがある機種は、必ずスイッチを②側にしてください。
また、LINE OUT/EQ IN切り換えスイッチがある機種は、必ずスイッチをEQ IN側にしてください。

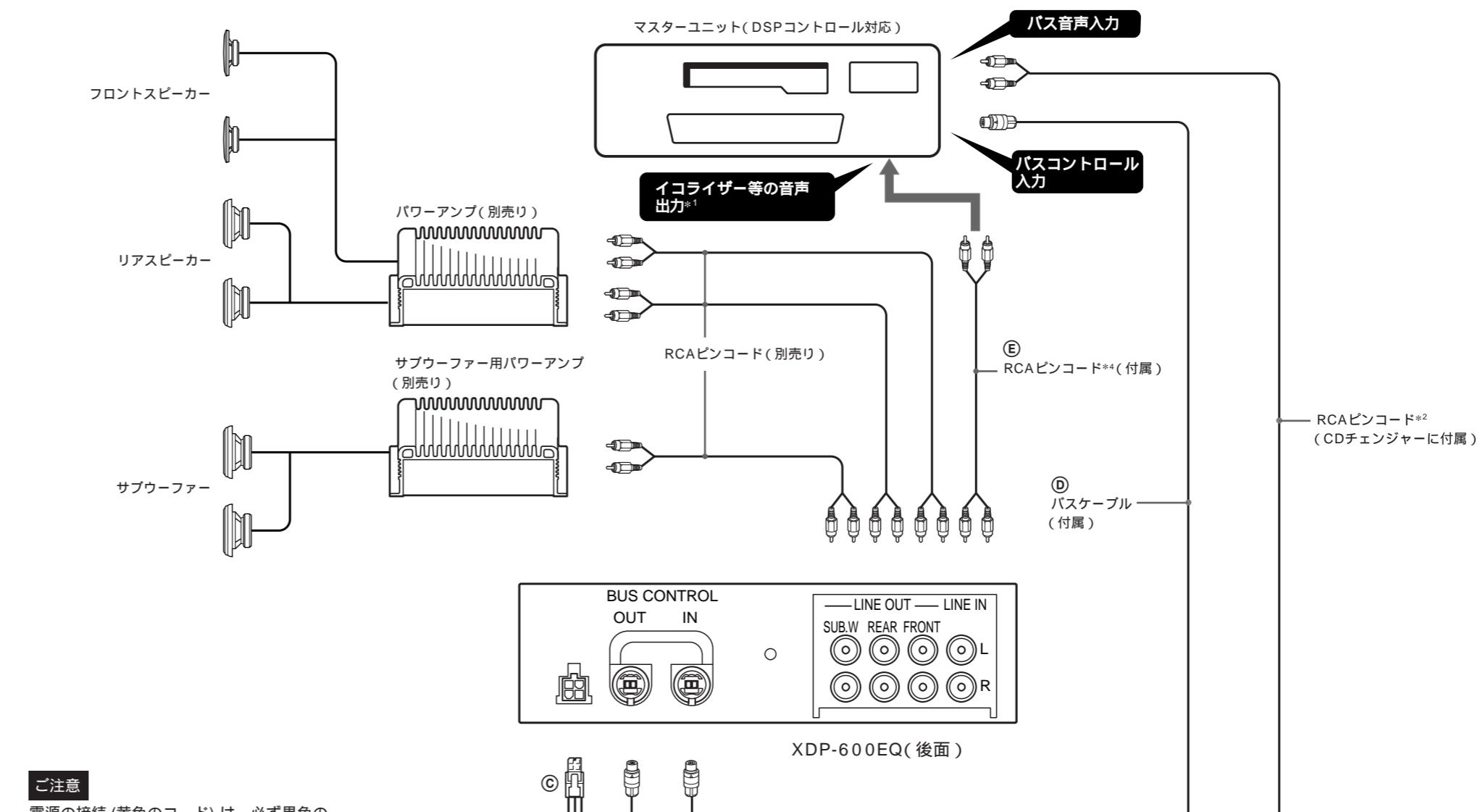


*1 機種によっては「LINE OUT」あるいは「EQ OUT」表示の場合があります。

MDチェンジャーの接続については、くわしくはMDチェンジャーに付属している接続図を参照してください。

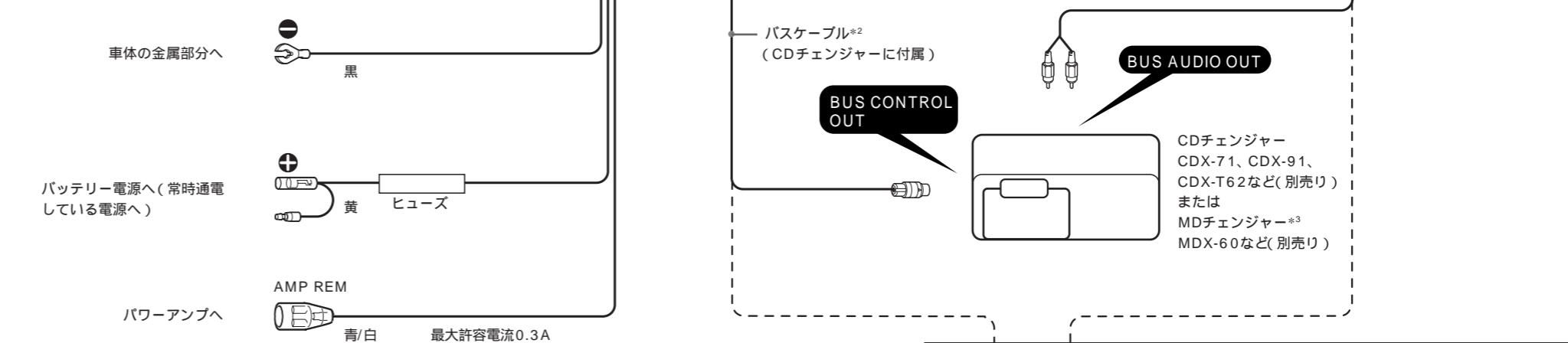
接続例4(マスターユニットとサブウーファー、パワーアンプ、CDチェンジャーまたはMDチェンジャーを接続する場合)

マスターユニットに音声出力/入力切り換えスイッチがある機種は、必ずスイッチを②側にしてください。
また、LINE OUT/EQ IN切り換えスイッチがある機種は、必ずスイッチをEQ IN側にしてください。



ご注意

電源の接続(黄色のコード)は、必ず黒色のコードをアースしてから行なってください。

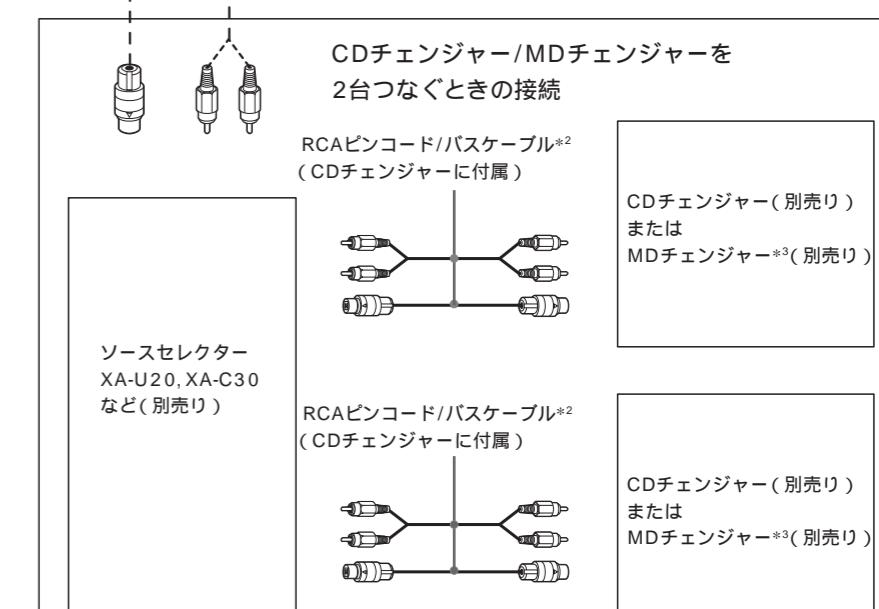


*1 機種によっては「LINE OUT」あるいは「EQ OUT」表示の場合があります。

*2 CDチェンジャーに付属のコード/ケーブル、または別売りのRC-61(1m)、RC-62(2m)などをご使用ください。

*3 MDチェンジャーの接続については、くわしくはMDチェンジャーに付属している接続図を参照してください。

*4 コードの長さが足りない場合は、別売りのRC-63(1m)、RC-64(2m)、RC-65(5m)などをご使用ください。



複数のCD/MDチェンジャーを接続するときは、別売りのソースセレクターXA-U20またはXA-C30が必要です。

ショート事故を防ぐために

本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすましてから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の破損の原因となります。万一、先に電源コードを接続して配線しなければならないときは、はじめにバッテリーのマイナス端子をはずしてください。

ただしドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けてある車では、バッテリーのマイナス端子をはずすとメモリー内容がすべて消えてしまうことがあります。

電源コードの色分け

黄色コード 動作用電源入力コード。車のキーに関係なく、常時通電しているところで5A以上の電流が取れるところにつなぎます。イグニッションキーをOFFにすると、メモリー保持用の電流だけが流れます。

黒色コード アース用コード。車体の金属部分に確実にアースしてください。

青/白線コード パワーアンプのコントロール用。

ヒューズ

電源コードの中間にヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズケースに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。